

鎮魂

瀬谷区支部 石井 昭男（子）

戦没者 石井 忠五郎

戦没地 旧満州

遺児われも 七十路なれば 靖国の 妻と呼ばれし 母今は亡き

戦場へ 母と送りし 満州で 今も瞼の 奥に残りぬ

子をたのむ 残せし葉書 色あせて 今なお読みし 悲しみ深き

満州の 今も消えなむ 慰霊祭 ふるさとの歌 淋しく流る

忘れ行く あの大戦の 惨劇を 戦没遺児の 語りとなりぬ